

1 導入基本ルート

金沢港-金沢駅-香林坊-野町駅の都心軸を基本としたルートが適当である。

公共交通重要路線のうち都心軸を通り、周辺市町を含めた公共交通ネットワークの幹線軸都市のさらなる発展や広域ネットワークの一層の強化に寄与
今後の社会経済情勢に合わせて、段階的に拡充も検討

2 導入検討機種

利用者の上下移動の有無などの利便性や費用面、景観面等を勘案し、地上走行を基本としたシステムの導入が望ましい。

3 導入に向けた環境整備

導入にあたっては、「公共交通の利用促進」、「導入空間の確保」、「自動車交通への影響」及び「市民意識の醸成」など解決すべき様々な課題があり、既存公共交通への利用を促進する施策などを、時間軸を定めた上で、可能な取組から段階的に実施し、あわせて関係者との合意形成を進め、導入に向けた環境を整えていくべきである。

専用走行空間を設けることによる車線削減の影響で、都心軸だけでなく、並行または交差する道路及び細街路にも自動車交通が分散し、交通混雑が予想される。また、荷捌き車両やタクシー対策等多くの課題がある。

課題解決に向けて優先的に取り組むべき事項

- ・公共交通重要路線の利便性向上
- ・パーク・アンド・ライド駐車場の拡充及び利用促進
- ・既存公共交通の利用促進及び自動車交通の削減につながる効果的な交通実験
- ・荷捌き車両やタクシーへの対応
- ・過度なクルマ依存からの脱却と公共交通利用への行動変化の促進（市民意識の醸成）

- ・利用者の上下移動の有無などの利便性や費用面、景観面等を勘案し、地上における専用走行空間を有し、十分な輸送能力を持つBRT及びLRTが適当である。
- ・具体的な導入機種については、ART（自動運転等による次世代都市交通システム）などの技術革新や、BRT及びLRTの導入に関して先行する自治体の状況等も見極める必要がある。
- ・導入に向けた環境整備を進め、効果を検証しながら、技術面や費用対効果等の面から、十分検討を行った上で慎重に判断することが適当である。
- ・地上走行方式の機種を導入した場合の市民生活への影響について、今後積極的に市民へ情報提供を促すとともに、市民の理解と協力が得られるよう努める必要がある。

- ・継続的に交通量（自動車・自転車・歩行者）や交通手段の利用動向等の調査を実施し、施策の効果を検証した上で、導入に向けた具体的な準備を進めることが適当である。

- ・公共交通重要路線の利便性向上
- ・過度なクルマ依存からの脱却と公共交通利用への行動変化の促進（市民意識の醸成）
- ・子ども世代からの公共交通利用の意識付け（交通環境学習）
- ・パーク・アンド・ライド駐車場の拡充及び利用促進
- ・既存公共交通の利用促進及び自動車交通の削減につながる効果的な交通実験
- ・荷捌き車両やタクシーへの対応

【その他】

【付帯事項】

- ・新しい交通システムの導入空間として、既存道路空間のみを活用することに限界があるため、将来的には沿道の再整備に併せた民地を活用した交通結節点の整備についても検討する必要がある。
- ・既存公共交通の利便性を低下させないためには、新しい交通システムの導入後も、一部の既存バス路線は引き続き運行し、これらが相互に補完し公共交通のネットワークを強化していくことが必要である。その際、バス路線網の再編とあわせ新しい交通システム及び既存バス路線の道路空間上での共存方策について、関係機関が連携し引き続き検討を進める必要がある。
- ・国、県、周辺市町との連携・協力体制を構築するとともに、市民との協働及び交通事業者との十分な調整が必要である。
- ・誰もが利用しやすいシステムとなるよう、バリアフリー性に優れた快適な車両、交通結節点及び停留所の整備など利用環境の向上を図るとともに、定時性の確保に寄与する優先信号や運賃支払い方法及びわかりやすい情報提供等の機能が十分発揮できるシステムを目指すべきである。
- ・システムの持続的・安定的な運営を目指すには、今後、事業方式や運営方式についても、財政状況や官民の役割分担を踏まえ十分な検討が必要である。